

その名大口

※「もみじ祭り」をプロデュースした大口高校生。各班の班長にコメントをいただきました。

ステージ班 小門真也君（2年）

私は今回の「もみじ祭り」で、たくさんのことを学びました。今年度のもみじ祭りは、日本大学の生産工学部の方々と協力して企画してきました。企画を進めていく中で感じたことがあります。私たち高校生と大学生の方々との視点の違いです。曾木の滝の魅力を、地元の視点からだけでなく市外から来てくださった人の視点で見ていることです。そうした視点を入れてステージ構成や台本を考えました。しかし、私たちステージ班は準備が遅く、前日になってなんとか準備することができました。来年度以降、企画に参加する後輩達は、早くから準備を始めておくことをお勧めします。



当日は雨天で中止になってしまい本当に残念でした。当日は曾木の滝公園に行き、フード班の販売の手伝いを



させていただきました。会場に来てくださったお客様の笑顔を見ると、今回の企画に参加して良かったなと思いました。「もみじ祭り」大口高校プロデュースという企画に参加して、地域の方や大学生などとの交流があり、学ぶことがたくさんありました。いろいろなアドバイスや協力してくださった方々に感謝しています。この経験で学んだことを、これからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。



上から、①キックオフ事前学習会(7/8)、②③④現地探索・第1回企画会議8/22・23、永村研究室との集合写真。⑤第2回

企画会議10/29。⑥は鹿児島のイベント経験者に話を伺っている写真。その他、5回の班長会をもちました。

アート班 周防原朋也君（1年）

アート班は子ども達に絵を描いてもらった障子紙を使った紙灯籠を作りました。僕たちの班は1年生のみで構成されていたので、分からないことも多く、取りかかりが遅くなってしまいました。紙灯籠を作り始めたのはライトアップの1週間前でしたが、同級生も放課後に手伝ってくれたのでアート班以外の350個という多くの紙灯籠を無事に作り上げることができました。「もみじ祭り」の本祭りの前々日に紙灯籠を設置した際には、風が強く紙灯籠が何度も倒れてしまうというアクシデントが起きました。しかし、紙灯籠に火を灯すと、不思議と風もやみ、優しいローソクの灯りが曾木の滝まで道を照らしていました。想像以上の美しさに感動しました。自分の絵を見つけた子ども達が嬉しそうにしているのを

見て、とても心が和みました。26日は雨が降ってしまい、滝のライトアップは中止になりましたが、紙灯籠は場所を変え灯しました。置き方を工夫することで、前日とは違った灯籠の美しさを表現することができました。

今回、紙灯籠作成という企画を通して、友達や市役所の方々、幼稚園や保育園の子ども達など多くの方の協力があったからこそ、できることだと分かりました。この経験を生かして、次の活動でさらに地域活性化できるようなことをしたいです。

イベント班 下山野風香さん（2年）

私は昨年も「もみじ祭り」に参加しました。その時は1年生ということもあり、2年生に頼ってばかりいました。でも今回は2年生という立場になり、引っ張っていかねばならなくなりました。イベント班の班長になり、たくさんの方の力を借りてスタンプラリーの企画ができました。それからマップを作ったり、景品を決めたりしました。しかし、思いの外現実には厳しく、金銭面などでたくさん悩まされました。放課後や休日を使い準備を進めて当日を楽しみにしていたら、雨天で「もみじ祭り」が中止になってしまい、とても悔しかったです。でも、一つのものをみんなで作り上げるという貴重な体験ができ、とても嬉しく思っています。この経験を生かしたいです。

フード班 多賀夕真さん（2年）

私たちフード班は、今回の「もみじ祭り」でおにぎらずと豚汁を販売しました。私たちはほとんど料理経験がなく、慣れない作業ですごく大変でした。おにぎらずを作る過程では、ごはんを詰める人、そばろや卵を詰める人、海苔を巻く人に分かれて、それぞれの仕事を分担して行いました。単純な作業の繰り返しでしたが、きれいにご飯が入らなかったり、形がくずれたりなど上手くいかなかったこともありました。しかし、たくさん作っていくうちに、1分で1個作れるほどのスピードになりました。

当日は6時に集まり、もみじ祭りに向けて準備をしました。海苔が足りなかったり、売った個数を書き留めるのを忘れていたりいろいろなハプニングはありましたが、他の班の人や日大生の皆さんや地域の皆さんに支えられておにぎらずを完売することができました。協力していただいた前田さんや是枝さんをはじめとする皆さんに心から感謝しています。



コンシェルジュ班 郷原飛由我君（1年）

今回初めて「もみじ祭り」の企画、祭りに参加する高校生のプロデュースという大きな仕事をしました。今までお祭りに行く側であった自分が初めて知った、企画している人たちの大変さ、どうしたらお客様に満足していただけるのかということを考える“おもてなし”の心を深く感じるすることができました。

僕たちC&C（コンシェルジュ&コーディネーター）班は、1年間使われる「曾木の滝MAP」を作成しました。そのMAPには、公園内のシンボルである展望台の他に、今まで知られていなかった地元民だからこそ知るオススメスポットや穴場の紅葉スポットなど、陰で曾木の滝公園を支えている場所をメインに掲載しました。また、曾木の滝公園内のお店に、オススメ料理や営業時間、人気のお土産などの取材を行い、MAPに載せ、お店の方々とも交流を深めることができました。また、日本大学の学生の方々とタグを組むことで、高校生の考え方と大学生の考え方を組み合わせ、とてもすばらしい“おもてなし”の心がこもったMAPが完成しました。僕たちが作ったMAPが使われ、たくさんの笑顔が生まれると思うととてもワクワクします。また、来年も参加し、たくさんの笑顔を増やしていきたいです。

~~~~~  
海潮忌（海音寺潮五郎先生の忌日）が11/27に開催されました。

文学フェスティバルの司会を本校の野尻菜々恵さんと木佐貫楓さんが担当し、読書感想文で米倉由莉さん（1年）と山之上七海さん（3年）が優秀賞、岩元彩夏さん（2年）が入選しました。また、澤津一希君（3年）はラグビー九州選抜選手の実績で伊佐市スポーツ功労賞を受賞しました。

